

児童目標は「かしこく・やさしく・前むきに」

西本梅小学校だより

基礎・基本の徹底と考える力の育成による学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進

〒622-0066 京都府南丹市園部町南八田中山17 TEL 0771-65-0014 FAX 0771-65-0662
ホームページ（HP）もご覧ください <http://www.be.city.nantan.kyoto.jp/nishihonme-es/>

今日の春 みんなで楽しく あかまつラリー



この写真は、大河内の分教場あとの桜です。太い幹から、枝と言うには立派すぎる枝が分かれて、満開の時を迎えています。



1年生を歓迎する気持ちをこめて「あかまつなかよしラリー」を4月15日に行いました。あかまつ班で南八田の農道を歩き、「春見つけ」と「春の575作文」に取り組み、南八田公民館運動場で「班対抗ボール送り」を楽しみました。左上の写真は旧幼稚園分園から坂を下っていくところです。開始にあたり、1年生はやや不安げな顔です。右は、1年生がかくされていた自分の名前を見つけたところでの班の記念写真です。ボール送りを楽しむころには、みんなはすっかりうち解けて、ニコニコ笑顔で、満ち足りたようでした。

今年度も「全員表彰」をめざして取り



組みますが、その第1回は「春の575作文」の5名の友だちです。

京の春 えがおあふれる 西本梅 6年生

さくらさく みんなのえがおも 満開だ 6年生

春が来た つくしにさくら 春の色 6年生

春の花 やさしいえ顔で わらってる 5年生

やっぱりな またまたきたぞ 花粉しょう 5年生

美しい季節をとらえたり、苦しい症状をユーモアに変えたりと、佳作ぞろいですね。

目次：

あかまつラリー	1
相談窓口	1
1～4年生の様子	2
5～6年生の様子	3
西本梅学くん	3
行事予定	4
編集後記	4

新型（豚）インフルエンザの相談窓口について

新型（豚）インフルエンザの国際的な流行が気がかりです。もし、お子様やご家族に感染の疑いが生じた場合は、病院や開業医ではなく、

[南丹保健所発熱相談センター（0771-62-2979 24時間対応）](http://www.nantan-city.jp/health/0771-62-2979)

に連絡・相談してください。その結果は、学校にもお知らせください。

南丹市役所の相談窓口は福祉健康課（0771-68-0016）です。

1年生 楽しく遊び 日に日に伸びる



緊張した入学式から早3週間。4月13日(月)の朝には、ごくふつうに自然に上級生たちとアスレチック広場などで遊んでいました。

今週は、生活科の学習で「全校のみんなの名前を覚えて友だちになろう」と、休み時間にサインをもらいに出かけていました。自分の名前やなぜサインをお願いするかを相手にきちんと話した上でサインを求めていました。その態度にみんな感心して、対応していました。すべての上級生や教職員の名前をすぐに覚えることでしょう。

日に日に成長いちじるしい1年生です。

春の日に ぐんぐん伸びよう 2年生

進級して1年生のお兄さん・お姉さんになった2年生は、さまざまな場面で1年生を助けたりリードしたりしています。4月13日(月)の1年生への学校紹介では事前にプレゼントを作ったり自分たちで学校紹介を分かりやすくするための計画をねったりして、立派にやりとげていました。

学習面でも漢字の「週」のしんじょうの難しさにおどろきながらもがんばって覚えたり、一段と高度になった計算にチャレンジしたりしています。

毎日ぐんぐん伸びていく2年生です。



8人は 10才(天才)なんだ 4年生



高学年の仲間入りをして2階の教室に入った4年生。8人は3年生時代よりも落ち着いて学んでいます。先日社会科学習の一環として、船井衛生管理組合にお世話になって、学校でゴミ収集車を目の当たりにして、学習しました。堂々とした姿でたくさんの質問をしていた様子に確かな成長を見る思いがしました。

4年生の通信は「みんな10才」と名付けられています。が、「みんなてんさい」と読むのだそうです。よく努力する者こそ天才です。今後の天才としての成長が楽しみな4年生です。

夢をいだき 未来に向かう 5年生



5年生は、校内では、高学年として6年生を支えながらも、さまざまな場面でしっかりとリーダーシップを発揮するという覚悟で1学期をスタートしました。学年独自の取組としては、若狭合宿がひかえていて、みんな前向きにがんばっています。

学年通信は「夢をだきしめて～夢が人生をつくる」というタイトルです。夢や希望や目標がある限り、人生はすばらしいものです。夢を見つけ、夢をいだき、未来に向かうために毎日コツコツとがんばっている5年生です。

人生は やる気に根気に 勇気だね

学年PTAで学年目標が「小学校最後の1年 みんな仲良く楽しく学校生活を送ろう」と決まった6年生です。この目標のとおり、明るい笑顔で毎日充実した学習をくりひろげ、全校生のためにもよく活躍しています。たとえば、朝の運動で下級生がうんていや登り棒に四苦八苦していると、6年生が下から支えて助けていました。このようなことが、すみやかにさわやかにできる6年生はすばらしいですね。

もうすぐ最高に楽しみにしている修学旅行があります。よい思い出をおみやげに持ち帰ることでしょ。



3年生になった西本梅学くんのふるさと学習は大河内の大山祇神社へ



こんにちは。ぼくは、西本梅学(にしほんめ・まなぶ)です。3年生になりました。今年度も「ふるさと学習」にがんばり、その報告をこの学校だよりで行いますので、よく読んでふるさと西本梅のことを知ってください。

今回は、大河内の大山祇神社(おおやまずみじんじゃ)に出かけてみました。応永26年(今からおよそ600年ほど前)に建てられました。一間社流造(いっけんしゃながれづくり)という建て方で、屋根は「こけらぶき」といって、細長い板を何枚も重ねてふいてあります。建てられたときの様子をよく残していて、重要文化財(じゅうようぶんかざい)に指定されています。神社のすぐ下は、もと大河内分教場で、春には山桜の大木に見事な花がさきます。

これからの行事予定

5月

- 1日(金)家庭訪問2日目(下校は昨日同様)
- 3日(祝)憲法記念日
- 4日(祝)みどりの日
- 5日(祝)こどもの日
- 6日(水)振替休日(日曜日と憲法記念日が重なったのでお休み)
- 7日(木)みんな元気に登校する日
- 8日(金)持久走タイム記録会 内科検診
- 11日(月)あかまつ班遊び
- 12日(火)お話タイム 検尿・ぎょう虫2次
- 13日(水)眼科検診 がんばりタイム
- 14日(木)6年修学旅行(3校合同)1日目
- 15日(金)6年修学旅行2日目 4学年PTA
- 18日(月)聴力検査開始(22日まで)
- 20日(水)がんばりタイム
- 21日(木)体力テスト 2学年PTA
- 22日(金)体力テスト予備日
- 25日(月)視力検査開始(29日まで)
子育て相談日
- 26日(火)子育て相談日 クラブ活動

28日(木)5年宿泊学習1日目(3校合同)
1学年PTA

29日(金)5年宿泊学習2日目 1学年PTA

6月のおもな予定

- 4日(木)避難訓練 6学年PTA
 - 5日(金)プール清掃
 - 10日(水)小学校教育研究会のため4校時授業
 - 13日(土)るり色きらきら発表会
 - 15日(月)振替休日
 - 18日(木)5学年PTA
- 他にクラブ、委員会、持久走記録会など
今年、曜日の関係で、ゴールデン・ウィークに限らず、3連休以上の場合があります。西本梅地区と共催の運動会を予定している9月20日(日)も連休と関連しています。運動会は、9月20日が雨天順延の場合、学校はお休みとし、翌21日(祝)に学校としての運動会を行います。この日も雨の場合は学校もお休みとし、(各ご家庭の連休予定をあまりくずせない)、次の登校日の24日(木)に運動会を行います。24日も雨だったら、25日(金)に行います。9月20日もしくは21日に運動会が実施できた場合は、24日を振替休日とします。
ご理解のほど、よろしくお祈いします。

編集後記



るり溪資料館の皆様のご尽力により「るり溪賛歌」(作詞：高谷公平氏、作曲：船越修氏)ができあがりました。「学校が小規模校化する中で、ふるさとを愛する心を育てることが大切。ふるさと愛は、具体的にふるさとの自然や歴史・文化を知ることによって育まれる」と考える本校としても、親しみやすいこの曲を大切にしたいと考えます。今年の「るり色きらきら発表会」で「るり溪賛歌」を全員合唱曲に取り上げたいと思います。1番は「はやくもさいた ヤブツバキ」、2番

は「すいしょうれんの みずしぶき」、3番は「にしきのトンネル くぐりぬけ」、4番は「つららにかがやく ひのひかり」と歌い出します。左の写真がヤブツバキで、西日本のほぼ全域に自生しています。これからも歌詞に歌われている四季折々の光景を本紙で紹介していきます。

右は、「あかまつなかよしラリー」で子どもたちが関心を持ったムスカリです。ムスカリは、ユリ科ムスカリ属の総称です。原産地は、南西アジアあるいは地中海沿岸地方とされています。球根植物で開花期は3月から4月ごろ。花を見たところ、ブドウの実のように見えるので、ブドウヒヤシンスの別名もあります。我が国では、30数年ほど前から市場に出回り、近年は人気品種となって、公園や家庭でよく植えられています。

入学式の教育委員会からのご来賓は、小寺直見教育委員さんでした。式後、小寺委員さんは「心温まる入学式でした。感動しました。」と感想を述べてくださいました。上級生が新入生を温かく迎え、仲の良いきょうだいのように学校生活を送るとい学校づくりを認めていただいて、校長は思わず感涙しました。